

木材女子の家づくり DREAM



今まで気づかなかったけど、
木材って、ナチュラルライフの入口なんだ。



木工教室で木と出会う。

買い物に行ったホームセンターで、たまたま目にした木工教室。

「木のツールづくりにチャレンジ！」だって！

軽い気持ちで参加したことが、私の暮らし方を変えることに。

DIYをやるのは初めてで、ノコギリをひくことも、

クギを打つこともぎこちなかったけど、

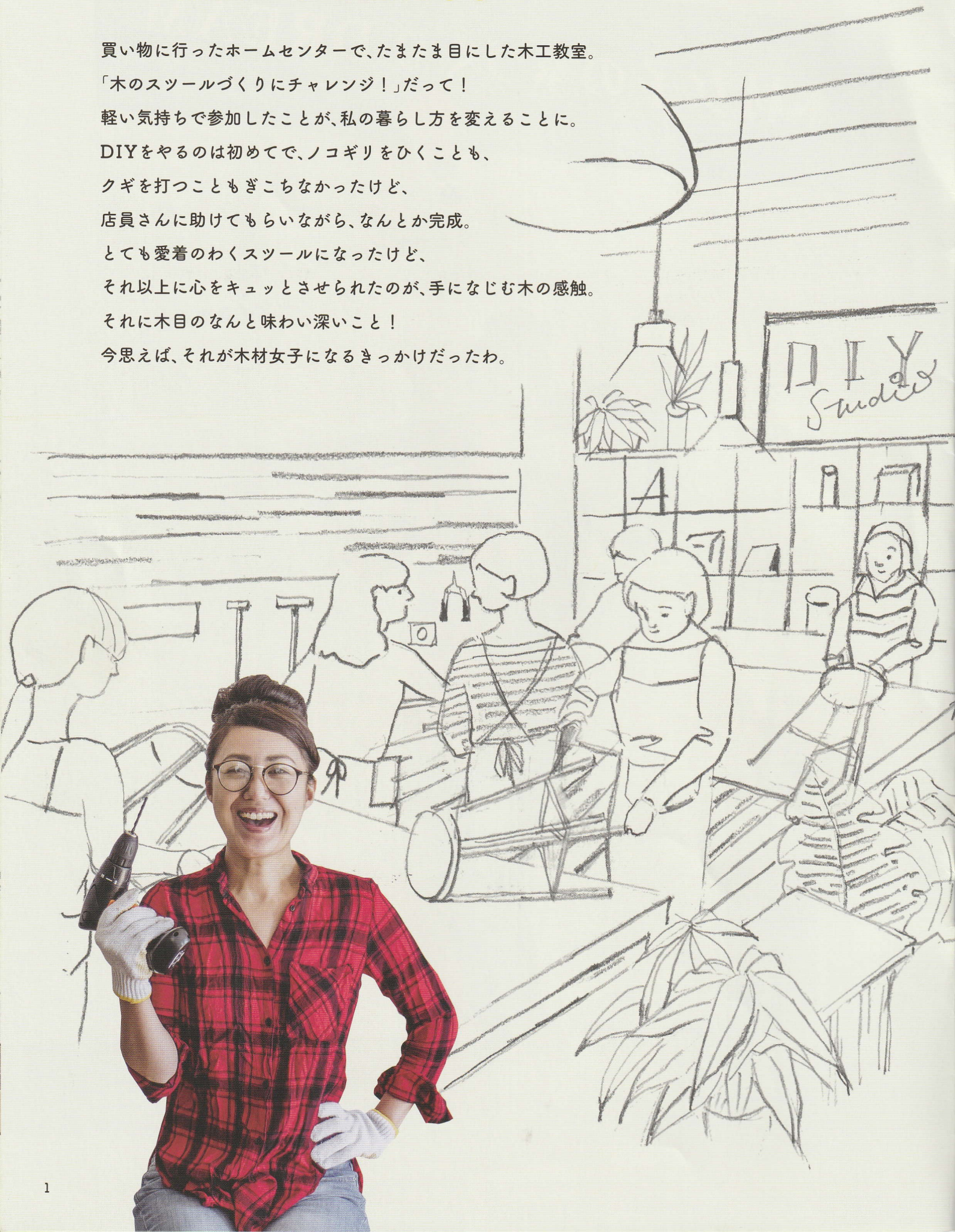
店員さんに助けてもらいながら、なんとか完成。

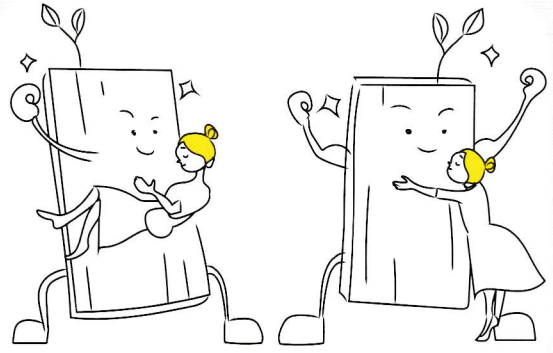
とても愛着のわくツールになったけど、

それ以上に心をキュッとさせられたのが、手になじむ木の感触。

それに木目のなんと味わい深いこと！

今思えば、それが木材女子になるきっかけだったわ。





木に興味があった！

それから木のことが気になるようになって、スマホで調べたり、木を特集している本や雑誌をめくったり、ホームセンターのイベントをのぞいたり、古い木造の施設を訪ねたりして、情報収集。ちょっとした木の追っかけになった気分。

でも、木について知れば知るほど、いろんな魅力があることに驚かされた。それは目に見えるものばかりじゃなく、香りや、肌ざわりが、私の五感に語りかけてきたのよ。

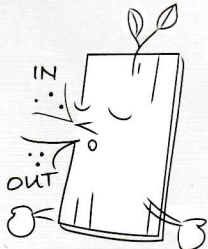
木はやさしくて強い。

木を使うといえば木造住宅がその代表だけど、建材として木を見ると、とてもバランスがいい素材だとわかったの。もちろん、鉄やコンクリートに勝ちをゆずる所もあるけど、大きな差が出てしまうところがないのね。

木は自然素材だから、やさしさや安らぎを連想しがちだけど、強さだってなかなかのもの。その強度を引きだすために、これまで職人さんたちが木造の技術を磨いてきてくれたのよ。近頃は大きな施設の一部にも木が使われはじめてるし、木はやさしくて強い材料なんだわ。

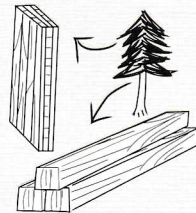
木の魅力とは？ いろいろな 特性

調湿性



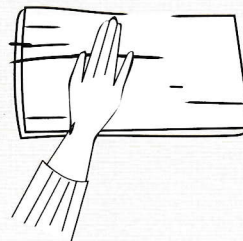
木は湿度が高い時は空気中の水分を体内に吸収し、少ない時は貯めていた水分を放出する働きがあります。この調湿作用により、梅雨時も冬の乾燥時期も室内の快適性が保たれるのが木の空間ならではの魅力といえます。

加工の自由度



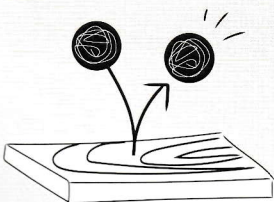
木は加工度が高く、柱やハリなどの構造材、床や壁や天井に使う内装材と、用途に合わせて使い分けることができます。またムク材だけでなく、合板や集成材など、多様な特長を備えた木質建材があります

低い熱伝導率



木にふれた時、冷たさを感じないのは、体温が木の方に移動しづらい(奪われにくい)から。熱の伝わりやすさは熱伝導率で示されますが、木の熱伝導率はコンクリートの10分の1、鋼材の500分の1という低さです。

衝撃の吸収



木は適度な弾力があり、歩くのに適しているとともに、転倒時の衝撃も吸収してくれます。素材の上にガラス玉を落としてみると、大理石は15cm、プラスチックは20cm、木材なら40cmの高さまでガラス玉は割れません。

ストレスの緩和



木の一番の魅力といえば、やはりリラックス効果。自然が生んだ木目や温かな風合いにいやされる人は多いはず。また木の香りをかくことで脳血流と血圧が安定した状態になることが、大学生を対象にした実験から報告されています。



木にこだわる工務店さん

近所に気になる工務店さんを見つけた。

駅に行く途中にあって、木を使っていい仕事をする評判みたい。

社屋もそんなに大きくはないし、人もたくさん働いていないみたいだけど、
本当にいい住まいができるのかな？

家づくりのパートナーとしてハウスメーカーや工務店、

それに建築設計事務所があるのは知っているわ。

私家が建てるのはまだ先のことだと思うけど、

その道のプロたちに一度木の家について聞いてみたいな。





若い社長は建築士。

休日に思いきってその工務店を訪ねてみた。出てきたのは若い社長さんで、建築士だと言っていた。学校を出て大きなハウスメーカーに就職したんだけど、若いうちに独立して、自分の会社をもったんだって。

社長の信念は木にこだわった家をつくること。しかも自然のままの木であるムク材を使って。いったいどんな住まいができるのかなあ。



その道のプロたちの力を集めて。

うちの社員だけでは家は建てられない。社長はそんなことも言っていた。いろんな工事が必要で、それに合わせてプロたちを集めるんだって。

私もニッコリとしながら、大工さん、左官さん、建具屋さん、それに土木工事、電気工事必要ね、と答えたら、社長さん、驚いた顔をした。これまで学んできた知識にものをいわせて、木材女子の面目躍如ってとこね。



住まいの設計

建築士が建築基準法にもとづいて住まいの設計をします。家族の要望や暮らし方、予算などを伺い、外装や内装、部屋の間取り、使う材料や設備を決めていきます。家づくりは設計からはじまり、その良し悪しを決める大切な仕事です。



木工事

木工事全般を請け負う大工さんは、設計図にしたがい、ノコギリやカンナなどの道具を使って、木を刻み、加工し、組み上げていきます。住まいの骨組みや壁、床、天井、屋根などの下地を作るのに必要な知識や加工技術を持っています。



屋根工事

住宅の屋根を仕上げる工事であり、瓦屋根ふき工事、スレート屋根ふき工事、金属薄板屋根ふき工事などがあるほか、屋根の断熱工事も手がけます。最近ではトタンなどの金属系屋根材については板金工事業者が行うようになりました。

家づくりに
関わる
専門家



建具工事

建具とは住宅の開口部に取り付けられる「仕切り」の総称です。建具職人は障子やふすま、ドアや戸の取り付け、備え付けの家具づくりなどを手がけます。家そのものを建てる大工さんとは違い、家の室内のものを作る仕事といえます。



工事現場の 監督・監理

家づくりの総指揮をとる現場監督は、工事現場に定期的に足を運び、工事の進捗状況や設計図面どおりに施工されているかどうか確認します。もし工事の途中で変更が出た場合、職人さんに適切な指示を出すのも現場監督の仕事です。



左官工事

左官は壁や床などを塗る技術職です。主に鏝(コテ)という道具を使って、土や漆喰、珪藻土などを塗って壁を仕上げたり、砂とセメントを混ぜたモルタルを塗って床や壁を仕上げます。職人の腕が仕上がりに影響する仕事です。

私の理想の住まいって？

スタイリッシュなスチール製の家具もいいけど。

ダイニングテーブルはやっぱり木にしたい。

将来、子供が生まれたら木の玩具を選んであげたい。

私たちの国では、少し前まで住まいといえば木を使うのが当たり前だったのだから。

建材もいろいろあるけど、人が心地良く思えるのはやっぱり自然が育んでくれた素材だけね。

背伸びせず、自分らしく自然体で生きる。

そんなナチュラルライフを好む人たちなら、木との相性はバツグンのはずよ。

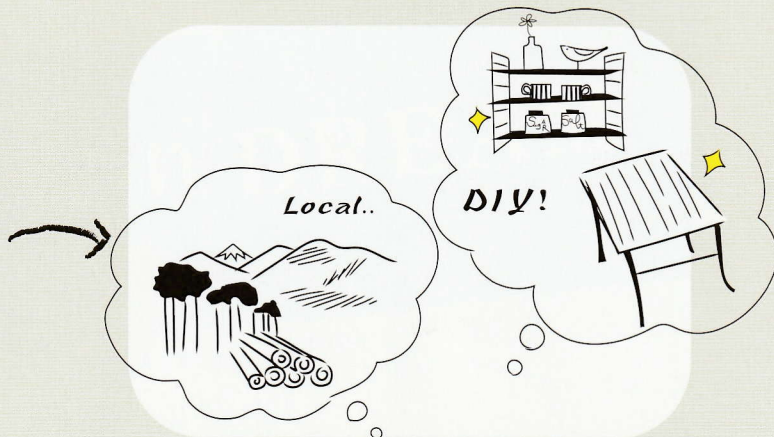




木の家っていろいろある。

一戸建てを建てるのが理想だけど、古い民家や中古のマンションを買って、木でリフォームするという選択肢もあるわね。

昔ながらの日本家屋のイメージではなくて、ちょっと新しさを取り入れた和モダンにしたり、カフェのような感じにしたり、カントリー風にしたり、今どきの木の家って、いろんな個性が出るから、私にぴったりのスタイルを探していきたいな。



地元の木材にこだわりたい。

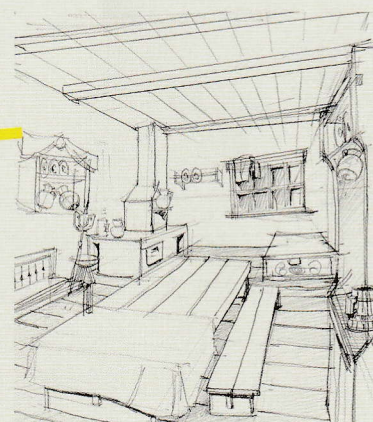
でも、木ならどこの木でもいいというわけじゃなく、できれば国産、それも地元で育った木を使いたいな。その方が環境にもやさしいし、地域の林業も元気になるしね。

これから、もっとDIYの腕を磨いて、棚や机やテーブルなどの身の回りの品も木で作ってみたいわ。きっと手放せなくなりそう。さあ、夢に向かって、これからがんばらなくっちゃ!

木を使って 安らぎの 空間づくり

Living Room

木のぬくもりに引かれて、みんなが集まってくる。笑い声が響き、くつろぎの時間が始まる。ここはWood Life Living。暮らしの中心に木があると、家族のきずなが深くなる。



Kitchen & Dining

木のダイニングテーブルに自慢の料理が並ぶとお気に入りのBGMが流れます。ほのかに漂う木の香の中でのひと皿はいつそう美味しく感じられる。



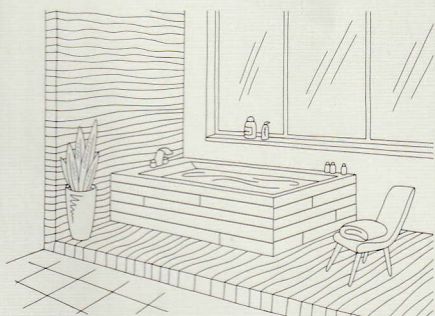
Bedroom

朝の目覚めが爽やかなのは木にかこまれて眠るせい? Night Healingをテーマにした上質な睡眠が心身のコンディションを整える。



Bathroom

木の浴槽で湯につかり眼を閉じると温泉リゾートにいる気分になる。ゆっくりと心身がほぐれていくRelaxation Bathroom。





けん木れん

静岡県木材協同組合連合会
静岡県木材青壮年団体連合会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 県庁西館9階
TEL.054-252-3168 FAX.054-251-3483
<http://www.s-mokuren.com>

※本資料の無断転載を禁じます。

おかげさまで 創立70周年



1950-2020
70th ANNIVERSARY

※本パンフレットは環境負荷低減のために「古紙配合再生紙」を使用しています。